

女性競技者ら 支援へ専門委新設

25年国スポへ
青森県対策委

2025年に青森県で開催予定の第80回国民スポーツ大会に向け、県競技力向上対策本部は2日、青森市で第6回強化対策委員会（委員長・本間正行弘前大教育学部名誉教授）を開い

た。同本部に「女性指導者ネットワーク専門委員会」を新設することを決定。今後の強化対策事業などについても意見を交わした。

会合には、中高の体育連盟や競技団体の関係者ら約30人が出席。前副知事の佐々木郁夫氏の退任に伴い、本部長に柏木司副知事が就任した。

女性指導者ネットワーク

専門委員会は、女性アスリートや指導者の活動環境改善を目的に設置。議長には、県女子体育連盟理事長の中居敬子氏を選んだ。委員は、八戸学院大スปีドスケート部監督の船場亜希氏ら女性8人。

このほか、来年度から展開する「ふるさと選手活動支援事業」について意見交換がなされた。他県で活躍する青森県出身選手が強化合宿や予選に参加する際の旅費などを補助し、積極的な参加を促す取り組み。

委員からは「県出身選手の指導者と連携すべきだ。選手が所属するチームの合宿を青森に招致するなど、環境づくりを工夫する必要があるのでは」という意見が出された。

（里村静）